

計画・交通研究会

Association for Planning and Transportation Studies

会報 2004-05

発行日：平成16年5月14日
発行元：計画・交通研究会
〒102-0083
東京都千代田区麹町5-2-1 K-WING 6F
TEL=03-3265-1774 FAX=03-3221-5489
E-mail = easts@sa2.so-net.ne.jp
Homepage =www008.upp.so-net.ne.jp/keikaku-kotsu/

目次

Opinion	1-2
交通調査をどうするか? - 2005年を前に -	
News Letters	2-3
事業報告・活動報告	
Announcement	3-4
研究会・催事の御案内	
Publication / Documents	4-9
刊行物・文献資料	
Backyard	9
事務局通信	

Opinion 交通調査をどうするか? -2005年を前に- 兵藤 哲朗

鬼も笑う来年の話であるが、2005年は国勢調査はもとより、全国規模の交通調査が数多く実施される年である。道路交通センサス、大都市交通センサス、航空動態調査やそれらを統合する幹線旅客純流動、さらには物流センサス。調査前年の準備作業がそろそろ始まりつつあるようだが、これを契機に交通調査の行方について考えてみたい。

まず「センサス」という名称に疑問を持つ。ローマ時代の租税目的の人口調査がその語源とされているが、語感として「つぶさに実態を把握する」ことに重点がおかれ、本来交通調査に必要な政策ニーズや、その分析目的が覆い隠されている危惧を禁じえない。例えば路面電車から地下鉄への遷移を目前にしていた時代の大都市交通センサスや、コンテナへの移行期を前に開始された物流センサスなど、当初は調査意図が明確であった調査が、回数を重ねるごとに時間や労力の制約から、継続すること自体に汲々となり、調査目的意識が若干薄らぎつつあるのではないか。とはいえ交通調査は政策ニーズのみに存在意義があるわけではなく、われわれが定期的に人間ドックに駆け込むのと同様、都市や国土の交通に関わる健康診断を行う意味も大きい。しかしそれを承知でも、今まで以上に、モニタ

リングを意図した大規模調査だけではなく、あわせて個別課題解決・提案型調査との「二本立て」を提案したい。

交通調査のいま一つのトピックはIT化である。GPSを利したプローブカーはさることながら、鉄道磁気カードやETC、流通分野で脚光を浴びるRFID（無線ICタグ）の本格利用が目前に控えている。特に流通分野では世界最大の小売企業であるアメリカ・ウォルマート社が来年から全ての荷受品にRFID貼付を義務付けていることから、その急激な普及が確実視されている。これらBig Waveを逃さず、交通調査の効率化や精度向上に組み込むことが急務である。従前から稼働している道路上の常時観測機や鉄道自動改札機もそうだが、TrackingやTracingを行う技術は高精度ではあるが断片的データを提供するのみである。寄木細工のごとく、従来調査のどの部分を補完できるか、そしてその技術的統計的方法は何か。実務者に関わらず研究者にとっても大きな果実を数多く見出せる分野であろう。またこれら新しいツールの根幹は通信系の技術に支えられている。道路交通以上に混雑・渋滞している電波周波数問題など、今まで不案内の知識も積極的に習得し自家薬籠中にする必要がありそうだ。

もう一つ、交通調査の国際化も喫緊の課題である。生産現場の海外展開や、爆発的な増大が想定されるアジア域内観光需要（「今後10年以内にアジアで観光ビッグ・バンが起きる」という至言もある）などから明らかな通り、国際交通需要を把握する必要性は劇的に高まっている。しかしそれをサポートする体制や予算処置は、その重要性に比して貧弱といわざるを得ない。一国だけでは十分な調査となりにくいいため、関連国の関連団体との連携が大切であり、アジア交通学会を初めとする学系の舞台を活用したプロジェクトがその端緒となることを期待したい。

本稿では都市間・都市圏大規模調査を例に述べてきたが、都市内交通調査（端末物流や駐車場、自転車歩行者空間整備など）はまだ調査意図が明確なケースが多く、状況は若干異なる。これらについては、ITによる効率的で頻回の調査実施を望みたい。

筆者自身、「採ってから考える」という悪癖から抜け出せないでいるが、自省をこめて、「考えてから採る」ことを肝に銘じたい。

（計画・交通研究会正会員/東京海洋大学海洋工学部
流通情報工学科 助教授）

News Letters

事業報告・活動報告 □

■2004年4月 計交研・

当て塾共催セミナー（第Ⅲ講・第1回）

日時：平成16年4月23日(金)17時～19時

場所：計画・交通研究会会議室

講師：「当て塾」塾長 鈴木 忠義

演題：第 講の開催にあたって

計画・交通研究会と「当て塾」との共催セミナーの第 講がスタートした。参加者は、計画・交通研究会関係3名、「当て塾」関係12名（塾長を含む）計15名であった。

第 講のテーマは「人間に学ぶ道づくり（人間尊重・自然共生の思想）」である。現在、(社)道路緑化保全協会において同名図書の出版に向けた編集作業が行われており、講義はその目次に沿って行い、7月までの5回（第2回から第6回）を予定している。

〔講義概要〕

「人間に学ぶ道づくり」では、人間にとって道（路）とは何かについて、意味論と生きがい論から解を求めていく。これは、“人間は意味を糧として生きる動物である”（菅野盾樹：「事典哲学の木」,P.76,講談社,2002.3）と言われ、“生きがいは人間に活力を育む”からである。

つい最近、圏央道の判決があったが、経済性だけでは判断材料が不備である。道路は地域の安全・安心に寄与しており、また、流通の発達を促し生活の自由度を飛躍的に増大させていることなど、地域社会や人間にとってのメリットを適切に示す必要がある。そのために、道路の意味論から解き明かしていく必要がある。

I. 道路の意味論

物事の意味は、文明により変化する。地域によっても変わる。道路についても、その都度、意味を真剣に考えなくてはいけない。移



セミナー風景

動のモチベーションは何か、人間社会や都市文化を創生していく支えは何かなど、道路の意味論を考えていく。大宇宙の循環系によって人間の体内循環系（小宇宙）は生きかされている。その大小宇宙をつなぐのがインフラストラクチャーである。

1. 意味は文明により変化する / 2. 20世紀文明の構造 / 3. 生き物にとってインフラストラクチャー（ライフライン、生命線）とは何か / 4. 人間に学ぶ・人間移動のモチベーション / 5. 国土・地域・都市 / 6. 都市文明の創生と支え / 7. 動機づけ / 8. 意味論の結論

II. 道路の利用と未来

道路の利用として、何を運んでいるか（用）、何が通れるのか（強）、人間にとっての本質は何か（美）を考えていく。その上で、必要であり続けるとされる自動車の未来と、良い自動車を生み出すことができる道路の進化の方向を見据え、道路の意義と役割を考える。

1. 何を運んでいるか〔用〕 / 2. 何が通っているか、通れるか〔強〕 / 3. 人間にとって（総合）〔美〕 / 4. 自動車の未来 / 5. 道路の進化 / 6. 道路の意義と役割（ のコンセプト） / 7. 道路緑化への期待

III. 道路緑化の理論と実践

快適な道づくりの一環である道路緑化について、人間と自然、花、緑との係わりを解き

明かし、設計論・技術論を紹介する。併せて、道路緑化の実践事例を紹介する。

1. なぜ自然を希求するのか / 2. 人間にとっての自然 / 3. 花と緑は人間とどう関わってきたか、関わっているのか / 4. どんな表現ができるのか（設計論、技術論） / 5. 道路緑化の実践

IV. 人間に学ぶ道づくり

以上の意味論を中心とした整理に加えて、道路の使い手・作り手から、人間の生きがい論、道づくりがどの様にあるべきかを考える。人間が生きがいを追求する結果、道路に何を求めるのか、人間と自動車を運ぶ道づくりはどうあるべきかを考えていく。

1. 生きがい論からの接近 / 2. 人間 + 自動車と道

むすび あとがき

「人間に学ぶ道づくり」は道づくりの原論として位置づけられ、学と術の体系、原論の意義・役割、「づくり」の基本などを附記する。

1. 道づくりの学と術の体系 / 2. 原論の意義・役割 / 3. なぜ原論が育たなかったか（自問自答） / 4. なぜ“づくり”か / 5. そのためにもPRが必要 / この本のねらい：読者の道路への認識と動機づけ

（文責：「当て塾」東京事務局 野倉 淳）

Announcement

研究会・催事の御案内

■2004年5月 理事会・

第26回通常総会・懇親会

日時・場所 平成16年5月26日（水）日本都市センター会館内 都市センターホテル
（http://www.tmd.ac.jp/dent/endo/hozon2000/toshi_center.htm参照）

千代田区平河町2-4-1 電話03-3265-8211

理事会：16：00～17：30 於：都市センターホテル6F603号室

総会：17：30～19：00 於：都市センターホテル5Fスバル

議案：

理事会：会の有限責任中間法人化について（法人化後の事業内容、定款等を含む）

会員の入会・退会の承認。

総会議案の審議

総会：第1号議案 平成15年度事業報告および収支決算に関する件。

第2号議案 平成16年度事業計画および収支
予算に関する件。

第3号議案 任期満了に伴う役員の改選
その他

懇親パーティー 19:00~20:30 於:都
市センターホテル6F 606号室

本件詳細は4月30日付文書にてご案内済み。

■ 2004年5月 定例研究会

日時:平成16年5月24日(月)18:00~
20:00

場所:計画・交通研究会 会議室

テーマ:「排出量取引の現状」

講演概要

1) 国際協議の流れと基礎知識

国際的な気候変動協定の推移/気候変動枠組み
条約/京都メカニズム

2) 日本の国内制度

日本における温室効果ガス排出量/政府のStep
by Stepアプローチ/経団連環境自主行動計画

3) 排出権の獲得と取引の現状

排出権の獲得/現状で取引されている排出権と
は/排出権の用途と可能性/市場の規模と成長性

講師: ナットソース・ジャパン株式会社
執行役員 鈴木紀夫 様

プロフィール:1988年東京大学工学部
(精密機械工学科)卒、1989年米国ミシガン
大学大学院(経営工学科)修士課程修了
司会:日本大学助教授 福田 敦先生

■ 2004年5-7月 計交会・

「当て塾」共催セミナー

第2回 5月11日(火)はじめに . 道
路の意味論

第3回 5月25日(火)

. 道路の利用と未来

第4回 6月 8日(火)

. 道路緑化の理論と実践

第5回 6月22日(火)

. 人間に学ぶ道づくり

第6回 7月13日(火)

むすび あとがき

第7回 7月27日(火)

観光原論の目次構成(第 講のまとめ)

(* 各回の講義内容は、変更されることが
あります。)

時間・場所:17:00~19:00 計画・
交通研究会会議室

講師:当て塾塾長 鈴木忠義先生ほか

Publication / Documents / 刊行物・文献資料 □

■ 2004 (平成16) 年度学位取得論文

以下に個人会員が指導教官となった博士論文、修士論文、卒業論文を紹介します。閲覧・貸出しおよび個別研究会も行います。ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。

大学/大学院名・学科/専攻名・研究室名(指導教官名) <大学名五十音順 >

論文著書名/論文表題/取得年月日/区分/レベル(I=基礎的、II=改良後実務応用可能、III=実務応用可能)

足利工業大学大学院工学研究科土木工学専攻・為国研究室

塚本健太郎/土木史料の調査・分類・保存方法とその評価・活用に関する研究/平成16年3月19日/修士/

茨城大学大学院博士前期課程都市システム工学専攻景観・空間設計研究室

木村誉/地理情報を用いた緑地分布の長期時系列変化情報の作成/平成16年3月23日/修士/

武田信二/偕楽園公園における利用者の回遊行動と景観認識/平成16年3月23日/修士/

- 永森康之 / 偕楽園公園の音環境と利用者の空間認識 / 平成16年3月23日 / 修士 /
山野辺康則 / 日立都市圏における景観特性と領域認識 / 平成16年3月23日 / 修士 /
九州大学大学院工学研究院環境都市部門都市環境システム工学専攻
- 李 強 / A Study on Modeling Commuter Behaviors Based on the Characteristics of Commuting Travel / 平成16年3月25日 / 博士 /
上村寿志 / 場合差に基づく施設回遊行動予測モデルに関する研究 / 平成16年3月2日 / 修士 /
樋口尚弘 / 出・退勤時刻決定行動に基づいた通勤交通手段選択モデルによるP & R施策の評価に関する研究 / 平成16年3月2日 / 修士 /
松本剛明 / 鉄道急曲線区間における台車蛇行行動に関する研究 / 平成16年3月2日 / 修士 /
山長聖和 / 駐輪場内における自転車利用者の駐輪位置決定モデル / 平成16年3月2日 / 修士 /
九州大学大学院工学府都市環境システム工学専攻交通システム工学研究室
- 久保雄穂 / 時刻変動を考慮した交通需要推計システムおよびモデルの構築に関する研究 / 平成16年3月25日 / 博士 / II
筑波大学大学院システム情報工学研究科社会システム工学専攻社会工学系都市交通研究室
- 鈴木完 / プローブカーデータの特性に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /
筑波大学大学院システム情報工学研究科社会システム工学専攻都市・環境システム分野都市交通研究室
- 甲斐慎一郎 / 道路利用者からみた渋滞判定に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 / II
筑波大学大学院環境科学研究科環境科学専攻都市交通研究室
- 杉原永樹 / 我が国におけるリージョナルジェット運航の成立可能性に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /
筑波大学大学院経営政策科学研究科経営政策科学専攻都市交通研究室
- 上野潤 / 船社・荷主の行動分析に基づいた港湾整備政策の考察 / 平成16年3月25日 / 修士 /
筑波大学大学院修士課程 環境科学研究科 環境科学専攻社会工学系 都市交通研究室
- 長尾 尊光 / 路側調査を用いた自動車排出ガス濃度の特性分析 / 平成16年3月25日 / 修士 /
筑波大学大学院修士課程環境科学研究科環境科学専攻都市交通研究室
- 于文广 (ウノ) / 交差点部における車両挙動の分析 / 平成16年3月25日 / 修士 /
筑波大学第三学群社会工学類都市計画専攻都市交通研究室
- 伊五澤正樹 / 土浦市における大規模ショッピングセンターの立地が周辺交通に与える影響について / 平成16年3月25日 / 卒論 /
宮崎文生 / バス利用促進活動に関する基礎的研究：つくば市TDM実証実験におけるアンケート調査に基づいて / 平成16年3月25日 / 卒論 /
東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻景観研究室
- 石原良浩 / 江戸町人地における町並み規制とその運用形態に関する研究 / 平成16年3月26日 / 修士 /
太田喜美恵 / 近代墓地と都市計画の関係ー明治期を対象としてー / 平成16年3月26日 / 修士 /
長見綾 / 街並の歴史的イメージ形成と都市構成要素の分布に関する研究 / 平成16年3月26日 / 修士 /
伊藤仁 / エンジニア・アーキテクト阿部美樹志の仕事とその特質 / 平成16年3月26日 / 修士 /
大西悟 / 持続可能性に関する議論の歴史的展開 / 平成16年3月26日 / 修士 /
Vo Trong Nghia / バ伝統的町家の屋根形状と風環境の関係に関する研究ーベトナム・ホイアンを対象としてー / 平成16年3月26日 / 修士 /
東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻
- 吉田正 / ITSを基礎とする社会資本整備の変革とその計画の評価手法 / 平成15年11月13日 / 博士 /
徳山日出男 / 政策評価の導入による新たな道路行政マネジメントに関する研究 / 平成16年2月12日 / 博士 /
山下保博 / 東京の幹線道路整備における政策決定に関する実証的研究 / 平成16年2月12日 / 博士 /
松谷明彦 / 人口減少高齢社会における社会資本整備の前提条件 / 平成16年3月15日 / 博士 /
福田大輔 / 社会的相互作用が交通行動に及ぼす影響のミクロ計量分析 / 平成16年3月15日 / 博士 /

土橋悟 / 江戸の幹線道路と街区の形成に地形が及ぼした影響に関する定量的分析 / 平成16年3月25日 / 修士 /

東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻 柴崎研究室

小西勇介 / 位置情報取得のための統合プラットフォームに関する基礎的研究 / 平成16年3月 / 博士 /

東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻建設マネジメント開発システム研究室

宋虎斌 (ソン ホビン) / 建設作業員の「イハン」の意味空間に関する研究—建設現場のエスノグラフィ— / 平成15年9月 / 博士 /

Pipitsupaphol Tirachai / Understanding Effects of Heuristics and Biases on At-Risk Behavior of Construction Workers (自己流習得 (ヒューリスティックス) とその特定の傾向 (バイアス) が建設作業員の不安全行動に及ぼす効果に関する研究) / 平成15年9月 / 博士 /

中川雅史 / 公共工事代金支払システムの国際比較研究 ~出来高部分支払方式の我が国への導入を目指して~ / 平成16年3月 / 修士 /

能勢和彦 / デュレーションを用いたコストフロー評価に関する研究 / 平成16年3月 / 修士 /

米澤明男 / 国際コンフリクトマネジメントの支援手法論: トウンヒンブン水力発電プロジェクトの調査研究 / 平成16年3月 / 修士 /

林 世宗 (リン セーゾン) / Loan Guarantees in BOT Projects: Moral Hazard Problems and Solutions (BOT事業における債務保証: モラル・ハザード問題とその解決策) / 平成16年3月 / 修士 /

富田 廉 / 出来高部分払い導入によるキャッシュフローの分析 / 平成15年9月 / 修士 /

Ochirjav Battur / A Study of IT Implementation framework on the Architectural/Engineering/Construction work in Japanese Construction Company (日本の建設会社における建築・建設・エンジニアリング業務へのIT導入戦略に関する研究) / 平成15年9月 / 修士 /

Sharma Kaushal Raj / Water Resources Management: A Methodology for the Analysis of Water Conflict between Nepal and India (ネパール・インド間の水資源管理をめぐるコンフリクト研究) / 平成15年9月 / 修士 /

東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻柴崎研究室

袴田知弘 / 都市部の三次元地図を用いた衛星測位環境シミュレーション / 平成16年3月 / 修士 /

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻都市交通研究室

橋本成仁 / 住宅地における面的交通静穏化施策に関する研究—コミュニティ・ゾーンを中心として— / 平成15年12月12日 / 博士 /

太田武成 / West Midlands地域における都市圏交通計画の運用実態と課題 / 平成16年3月25日 / 修士 /

平野孝之 / 大規模ターミナル駅における待ち合わせ行動に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

東京大学大学院社会基盤工学専攻桑原研究室

小根山裕之 / 交通の動的変化に対応した自動車からの排出ガス量推計手法の研究 / 平成15年5月14日 / 博士 /

Shamas ul Islam Bajwa / Short-Term Travel Time Prediction Using Traffic Detector Data / 平成15年9月30日 / 修士 /

浅野美帆 / 遅れ時間のリアルタイム計測による交通感応信号制御 / 平成16年3月25日 / 修士 /

石田友隆 / プローブデータを用いたOD推定と経路同定に関する基礎的研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学専攻原田研究室

牧 浩太郎 / 地下鉄駐輪事業者による駐輪場事業の可能性の検討—一駐輪場所選択と料金支払い方法選択の分析を用いて— / 平成16年3月25日 / 修士 /

村山 実 / 滞在時間に着目した大型商業施設におけるアクティビティ分析 / 平成16年3月25日 / 修士 /

湯浅誠一 / 居住地選択を考慮した鉄道通勤混雑対策に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

東京大学大学院農学生命科学研究科森林科学専攻地域資源計画学研究室

竹形 顕 / 東京と地方都市の店舗における一階前面部の特徴とその比較 / 平成16年3月25日 / 修士 /

宮沢泰子 / 山形県白鷹町における、重要な地物の立地と樹木の使い方から捉えた農村空間の特徴 / 平成16

年3月25日 / 修士 /

湯浅誠一 / 居住地選択を考慮した鉄道通勤混雑対策に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻屋井研究室

伊草英明 / 道路工事看板にみる行政・市民間コミュニケーションの国際比較 / 平成16年3月26日 / 修士 /

東京工業大学大学院総合理工学研究科人間環境システム専攻屋井研究室

荒木学 / 平日と休日の関係に着目した活動時間価値推計に関する研究 / 平成16年3月26日 / 修士 /

渡部数樹 / バイオフィードバックによる居眠り運転防止方法の評価 / 平成16年3月26日 / 修士 /

HILARIO SEAN O. PALMIANO / Development of a Simulation System for Impact Analysis of Mid-block Jeepney Stops in Metro Manila / 平成15年9月30日 / 博士 /

東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻屋井研究室

田崎伸一郎 / ミクロシミュレーションを用いた交通と大気環境の広域的な評価 / 平成16年3月26日 / 修士 /

東北大学工学部土木工学科空間計画科学研究室

大道 潤 / アジア経済圏を対象としたHOV理論の適用限界の検討 / 平成16年3月31日 / 学士 /

東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻空間計画科学研究室

小野公嗣 / 人の認識に基づく街路類型の体系化 / 平成16年3月31日 / 修士 /

栗田豊己 / オープン型砂防堰堤における防災機能を意識させる形のイメージ / 平成16年3月31日 / 修士 /

関孝太郎 / 象徴化された街路とその類型 / 平成16年3月31日 / 修士 /

松木清徳 / 製造業の国際水平分業が日中貿易に及ぼす影響 / 平成16年3月31日 / 修士 /

森豊明 / 建設業の業種内生産性格差の実証 / 平成16年3月31日 / 修士 /

東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻地域計画科学研究室

上野直人 / 郊外大型店の立地・撤退と買物行動に関する実証的研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

東北大学工学部土木工学科空間計画科学研究室

鎌田亮 / 大規模開発における街路の変遷 / 平成16年3月31日 / 学士 /

熊田正次郎 / 世帯属性と産業廃棄物発生との定量的関係 / 平成16年3月31日 / 学士 /

東北大学工学部土木工学科地域計画科学研究室

久保田恒太 / 自治体によるモビリティ確保の現状とその改善に向けての課題 / 平成16年3月25日 / 学士 /

小谷一仁 / 実データに基づく因果関係を考慮した道路事業リスク定量分析 / 平成16年3月25日 / 学士 /

谷口正守 / 沿道条件の違いを考慮したバスレーン設置効果に関する研究 / 平成16年3月25日 / 学士 /

渡辺大悟 / 空間効果を考慮した離散選択モデルの改良と適応性の検討 / 平成16年3月25日 / 学士 /

東北大学大学院工学研究科土木工学専攻地域計画科学研究室

小松孝輝 / 公共交通施策による長期的な交通特性変化分析 / 平成16年3月25日 / 修士 /

東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻空間計画科学研究室

伊藤崇 / SCM導入による家電リサイクルの効率性評価 / 平成16年3月31日 / 修士 /

東洋大学大学院国際地域学研究科小浪研究室

竹林尚美 / 都市と農山村の新しい関係構築に関する研究 / 平成16年3月23日 / 修士 /

渡邊裕康 / 大規模閉鎖空間における空間認知に関する研究 / 平成16年3月23日 / 修士 /

名古屋大学工学部社会環境工学科加藤研究室

長田基広 / LCAを用いた中量旅客輸送システムの環境負荷評価 / 平成16年3月26日 / 学士 /

竹下博之 / 名古屋ガイドウェイバス開業後3年間の状況分析 / 平成16年3月26日 / 学士 /

名古屋大学工学部社会環境工学科中村研究室

磯和賢一 / 信号現示切替り時における車両のリスクテイク挙動に関するモデル分析 / 平成16年3月26日 / 学士 /

名古屋大学工学部社会環境工学科林研究室

岡下拓司 / アジア大都市における環境配慮型土地利用・交通政策の可能性に関する調査分析 / 平成16年3月26日 / 学士 /

高木拓実 / 都市空間再構築における撤退地域特定のためのGISシステム / 平成16年3月26日 / 学士 /

名古屋大学工学部社会環境工学部中村研究室

眞壁武史 / INSPECTORを適用した名古屋市栄地区における駐車マネジメント施策分析 / 平成16年3月26日 / 学士 /

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻加藤研究室

杉本 淳 / 財政的持続性からみた都市公共交通の運営形態に関する評価分析 / 平成16年3月26日 / 修士 /

柴原尚希 / Social/Dynamic LCA手法の提案—交通システム整備に伴う環境負荷評価を対象として— / 平成16年3月26日 / 修士 /

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻林研究室

石田洋平 / 地方都市の魅力向上のための都市商業立地再構築に関する研究 / 平成16年3月26日 / 修士 /

眞田健助 / 計画的撤退を基調とした都市空間利用の再構成に関する研究 / 平成16年3月26日 / 修士 /

名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻中村研究室

後藤 誠 / 走行特性に基づいた一般街路交通状況の利用者評価に関する研究 / 平成16年3月26日 / 修士 /

渡辺康一 / 可変図形情報板が交通流に与える影響に関する研究 / 平成16年3月26日 / 修士 /

王 鋭 / プローブカー技術を活用した高速道路の旅行時間推定手法に関する研究 / 平成16年3月26日 / 博士 /

名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻林研究室

俞玫 / ストック化された都市を実現するための都市計画手法に関する研究 / 平成16年3月26日 / 博士 /

日本大学大学院理工学研究科社会交通工学専攻交通システム研究室

石坂哲宏 / プローブカーを用いた発展途上国での交通情報収集システムに関する研究—バンコクの旅行時間を対象として— / 平成16年3月 / 修士 /

井上洋一 / リンクパフォーマンス関数の設定に影響を与える要因の分析—東京都市圏を対象として— / 平成16年3月 / 修士 /

尾崎まり子 / バンコクに立地する大型商業施設への交通影響評価制度導入の検討 / 平成16年3月 / 修士 /

金城一也 / モノレールの利用経験が交通手段選択行動へ与える影響に関する研究 / 平成16年3月 / 修士 /

山梨大学大学院工学研究科博士前期課程持続社会形成専攻北村研究室

志村真美 / 山梨県内における耕作放棄地の発生要因分析 / 平成16年3月31日 / 修士 /

安井伸明 / エネルギーから見た甲府盆地内交通政策 / 平成16年3月31日 / 修士 /

横浜国立大学大学院環境情報学府環境システム学専攻システムデザインコース

竹内龍介 / 利用時の予約行動の影響を踏まえたDRTシステムの適用可能性に関する研究 / 平成16年3月25日 / 博士 /

山崎隆之 / バンコクにおけるバイクタクシーの端末交通手段としての可能性に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

池田嘉章 / 首都圏の放射方向鉄道サービス改善と沿線の土地利用との関連性に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

斎原潤 / 地方都市における施設立地と交通行動の関連性に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

鈴江早紀子 / 新形状のバスベイの設計と評価に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

横浜国立大学大学院工学府社会空間システム学専攻建設システム工学コース

落合剣人 / 高速道路における車群特性と事故危険性に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

花井正直 / 高速道路合流部における錯綜事象に着目した事故多発地点の診断に関する実証的研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /

三浦剛 / 鉄道駅におけるバスへの乗り継ぎ経路での情報提供に関する研究 / 平成16年3月25日 / 修士 /
早稲田大学大学院建設工学専攻浅野研究室

飯島裕之 / 行動の連鎖を考慮した生活行動フレームのモデル化とその適用 / 平成14年3月 / 修士 /

池岡和哉 / 家電リサイクル方施工に伴う静脈物流構造の変化に関する研究 / 平成13年3月 / 修士 /

佐々木克志 / 都内における自転車走行環境整備に関する基礎的研究～杉並区中杉通りを事例として～ / 平成14年3月 / 修士 /

中尾成政 / 面積算定に着目した駅前ペDESTリアンデッキのあり方に関する研究 / 平成14年3月 / 修士 /

平澤興 / 商店主の意識から見た商店街における路上駐停車に関する研究 / 平成14年3月 / 修士 /

向井義貴 / 鉄道駅周辺地区の歩行経路選択と歩行空間評価に関する研究—新宿駅周辺地区を対象として— / 平成14年3月 / 修士 /

Backyard

事務局通信

■会議室等の御利用について

当研究会の会議室、応接室をご利用下さい。

定例研究会や個別研究会の開催時以外は部屋が空いています。会員の皆様はお気軽にご利用下さい。個別研究会等で会議室を御利用になる場合は、取りあえずお電話を下さい。

会議用にはOHP、スライド(Kodak)、液晶プロジェクター (APTi) が有ります。

個別に利用できるデスクがあります。貸し出し用ノート型パソコン (IBM Think Pad)、FAX、電話、コピー、E-mailもご利用いただけます。

なお、会議室は現在利用率が非常に低い状況にあります。どうぞ、お気軽に御利用ください。(別途ホームページにて部屋の空き状況がわかり、申込みも容易にできるようなシステムを検討中)

■個別懇談会のお申し込み

会員各位個別の研究やプロジェクト等につきまして、当会のフェロー会員・個人会員(地域的にも研究部門の面でも多彩な教授・助教授がおられます。既送の会員名簿を御参照下さい)が個別に御相談・懇談に応じます。ご希望により日時を調整しますので、事務局ま

で遠慮なくご相談下さい。出来れば具体的な研究課題・プロジェクト内容と、希望されるフェロー会員・個人会員のお名前をご連絡下さい。

■原稿の募集

会報に掲載する下記の原稿を募集します。

- ・ **Publication/Documents** : 刊行物・文献資料。
- ・ **Announcement** : 研究会・催事の御案内
会員による講演会等の御案内も随時掲載します。日時・会場・事務局等を明記願います。
- ・ **Report** : 報告
海外研修報告、国際会議参加報告等
原稿執筆上のご注意

原稿のテキストファイルを電子メール(推奨。本文挿入または添付ファイルで)あるいは3.5インチのフロッピーディスクでお送り下さい。ワードプロセッサを使用される場合は、MS-Word形式もしくは一太郎形式で文書ファイルを保存して下さい。2

編集の都合上、400字を1単位としてその整数倍(上限4単位=1ページ分:表題・図表を含む)になるように調整して下さい。2

ページ以上に及ぶ場合は御相談下さい。

写真を使用される場合は、プリントされたものを郵送願います。

締め切りは偶数月の15日（必着）です。

■ホームページの刷新

ホームページを刷新しました。まだ不十分なところもありますが、逐次改善していきます。ご意見をいただければ幸いです。

新アドレスは

<http://www.keikaku-kotsu.org/>

計画・交通研究会

会長	中村 英夫
副会長	黒川 洸
副会長	森地 茂
事務局長	窪田 陽一
会報編集委員長	天野 光一
会報編集責任者	橋本 昭夫

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-2-1 K-WING 6F

TEL=03-3265-1774

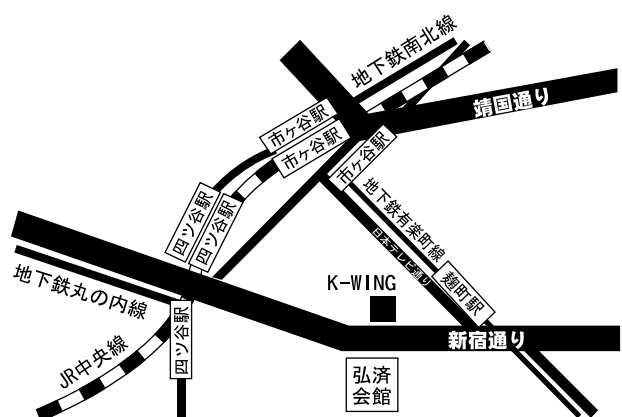
FAX=03-3221-5489

E-mail = easts@sa2.so-net.ne.jp

Homepage =

(新) <http://www.keikaku-kotsu.org/>

(旧) <http://www008.upp.so-net.ne.jp/keikaku-kotsu/>



計画・交通研究会案内図

交通

JR中央線四谷駅下車徒歩 5分／営団地下鉄丸の内線四ツ谷駅下車徒歩 5分／営団地下鉄南北線四ツ谷駅下車徒歩 6分／営団地下鉄有楽町線麹町駅下車徒歩 4分